

# ゼミ生による紹介

圓山ゼミ2017年度ゼミ長の浦部です。圓山ゼミは法律学科4人、消費情報環境法学科11人、政治学科3人が所属しています。学科関係なく消費者問題に興味のある方なら入ることができます。ゼミの雰囲気はみんな仲がよく、飲み会なども開いています。

## ゼミの特徴

### 春学期

一つのテーマに賛成側3人、反対側3人に分かれて、残りの生徒がディベートの審査を行います。班毎にディベートを行う前の週から集まり、分担をしてテーマについて深く調べます。テーマとしては、「選挙権の年齢引き下げに合わせて、民法の成人年齢も、18歳に引き下げるべきか」「豊洲市場を移転すべきか」「訪問販売において日本版 **Do not knock** 制度を導入すべきか」といった時事問題から、海外の法律の制度の違いなどをテーマにして行っています。また、出席表代わりに毎回自分が気になった新聞記事を、600文字にまとめる課題があります。先生が毎回添削してくれます。

## ゼミ合宿

ゼミ合宿では、相模原市にある独立行政法人国民生活センターに2泊3日の合宿を行いました。1日目は、国民生活センターの見学や商品テストの体験をしました。2日目の午前是他大学の生徒とディベートを行い、午後から3日目にかけて消費者教育について講義を受け、テーマを決め発表を行いました。日程を見ると全然遊んでない感じはしますが、夜は卓球や、みんなで部屋に集まっておしゃべりなどずっとしていました(笑)なので、遊ぶときと、勉強するときメリハリがつけられるのもいい所だと思います。

## 秋学期

秋学期では、個人研究発表を行います。この発表では、個人が興味を持ったテーマを約45分にまとめ先生とゼミ生に発表します。この個人発表で知識が増えるだけでなく、社会に出て必要な「プレゼンテーション能力」をつけることができます。また、発表が終わった後にもゼミ生と先生から鋭い質問が来る

ので覚悟が必要です！

## 通年

通年の活動では企業の見学にも行きます。見学回数も多く、月に1回は見学に行きます。この企業の見学の多さも圓山ゼミの特徴の一つです。またジャンルも毎回異なり、今年は、「東京都中央卸売市場食肉市場」「本田技研工場埼玉製作所」「日本生活協同組合連合会商品検査センター」「独立行政法人国立印刷局」など見学に行っています。企業の消費者に対する安全の取り組みなど実際に学べます



## 最期に

最期に圓山先生の紹介をします。先生はいつもニコニコしてとても優しくみんなのお父さんのような存在です。ディベートや個人発表でも助言や補足などもしてくれて常に新しいことも教えてくれます。また、お酒もかなり強く飲み会のときはいつも以上にニコニコしています。このゼミで学べることはたくさんあります。少しでも消費者問題に興味があればぜひ、圓山ゼミをお勧めします。